

【テーマ1: Canvasを活用したブレンディッド・ラーニング(BL)型研修に係る成果指標と評価モデルの開発 ー「学びのコミュニティを形成するLMS」を組み込んだBL型研修の成果と評価ー】

【京都光華女子大学】

第1回研修: 合計37名(小学校英語教員、英語教育関係者)
第2回研修: 合計53名(学校管理職、学校管理職を目指す者)
第3回研修: 合計85名(小学校国語教員、教育委員会関係者)
第4回研修: 合計141名(幼小中高大の教員、教育委員会関係者)
第5回研修: 合計30名(米国ハワイ州教育局、ハワイグローバル教育財団、教育委員会関係者、小中高大の教員)

モデル開発概要

現場における課題

- ◆ わが国の教員研修の課題は、1) 多忙な教員の物理的・時間的制約の克服、2) 教員の主体的なコミットメントを通じた個別最適化にある。

モデルの概要

- ◆ 「深い学び」の成果を構造化するために、「知の構造」による「逆向き設計」や、「探究のコミュニティモデル」等を組み合わせる。
- ◆ 評価指標として、複数の評価を組み合わせる。
- ◆ 研究成果をふまえ、実際にBL型研修の学びを見通した研修を設計できるよう、イメージ図を含む5種類のシートを開発した。

活用する技術・ツール等

- Canvas: 学びのコミュニティを形成するオンライン学習マネジメントシステム(LMS)
- 評価モデルと指標等、研究成果を具体的に表現した5種類のシート

教員研修
における
評価の
イメージ図

ブレンディッド・
ラーニング型
研修
デザインシート

学びの
アンカーリング
シート

対話のため
の研修一覧
シート

5年後の
ビジョン
マップ

高度化に資する取組

1. 「学びのコミュニティ型LMS」を活用したBL型研修に特化した評価モデルを確立するために、各教育委員会や幼小中高の教員と連携して、5種類の教員研修を行った。
2. 複数の評価モデルを組み合わせることにより、多様な学びに対応可能な評価モデルを開発した。
3. 研修の計画・実施、評価モデルの適切性を検討するメタ評価を行った。

第1回: 国内・小学校
英語研修
第2回: 国内・QFT実
践研修
第3回: 国内・小学校
国語研修
第4回: 国内・SELと
教科指導の統合研修
第5回: 海外・SELと
教科指導の統合研修

評価モデル 開発チーム によるメタ評価

各実践での評価
資料に基づいて
メタ評価を行い、
結果を次の実践
に活かしながら
評価モデルの適
切性を検証する

学びのコミュニティ型LMSを
活用したBL型研修の
成果指標と評価モデルの構築

モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

開発した5種類のシートの活用により、以下の点が期待される。

- ① 評価ビジョンの明確化(教員研修における評価のイメージ図)
- ② BL型研修の設計(ブレンディッド・ラーニング型研修デザインシート)
- ③ 深い学びの構造化とリフレクション(学びのアンカーリングシート)
- ④ 研修成果の可視化と自他との対話(対話のための研修一覧シート)
- ⑤ 研修成果の主体的な統合と今後の見通し(5年後のビジョンマップ)